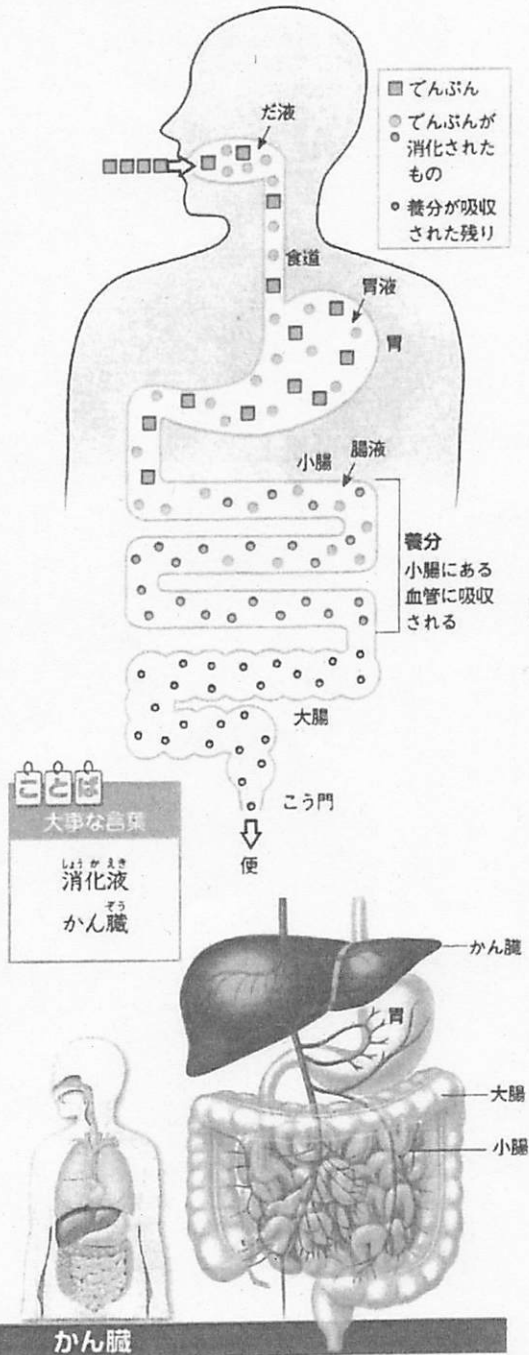


<ヒトや動物の体> p24~31を見て答えよう

6年 組 名前:

○消化のはたらき



クイズ：小腸のじゅう毛の表面積を合わせるとなんの広さになるでしょうか？
(p30を読んでみよう)

○だ液によってでんぷんはあまく感じる別のものに変化する。

○食べ物をかみくだいたり、体に吸収されやすいものに変えたりするはたらきを(①)といいます。消化に関わるだ液のような液体を(②)という。

○口から入った食べ物は、(③) (④) (⑤) (⑥)を通り、残ったものが便として、こう門から出る。口からこう門までの食べ物の通り道を(⑥)という。

○食べ物にふくまれていた養分は、小腸で吸収される。吸収された養分は血液の中に入り、血管を通して全身に運ばれ、生きるために使われたり、(⑦)にたくわえられたりする。

資料 **でんぷんの消化** はってん

でんぷんはそのままだでは小腸から吸収できません。消化液は、でんぷんをより小さく分解し、吸収できるような形にしています。ご飯つぶをかんでいるとあまく感じるのは、だ液のはたらきで、でんぷんが、むくむくとう 麦芽糖というあまいものになったからです。